



平成24年3月期 第3四半期

決算説明資料

平成24年2月14日



これまでにない「新しいモノづくりソリューション企業」として

新・事業戦略コンセプト neo EMS
(進化型のEMS)

をグローバルに展開し、企業価値を増大

目次

◇平成24年3月期 第3四半期 業績ハイライト	P 3
◇平成24年3月期 通期業績予想	P12
◇中期ビジョンと事業戦略の進捗状況	P20
◇参考資料:(株)TKRとの経営統合について	P31

【本資料におけるご留意点】

- ・2011年7月28日に株式会社テーキアールを子会社化いたしました。
- ・平成24年3月期は現時点以下の通り業績予想の修正を行っております。

2011年 8月1日	第2四半期累計期間連結および個別業績予想の修正
2011年 9月27日	TKR統合に伴う連結業績予想の修正
2011年 11月7日	第2四半期累計期間連結業績予想の修正

なお、当社グループとTKRグループの財務諸表の連結は、TKRグループ各社が12月決算であることから、期間損益に関してはTKRグループの7月～12月の6か月分のみを当社グループ10月～3月の財務諸表に取り込むこととなります。

* 金額は四捨五入にて百万円単位で表示しております。そのため決算短信、四半期報告書と一致しない場合があります。



平成24年3月期 第3四半期

業績ハイライト



平成24年3月期 第3四半期 業績ハイライト (P/L)

前期比 売上高44.8%増、当期純利益43.6%増

項目/決算別 (単位:百万円)	第3四半期				第3四半期(累計)			
	前年同期	実績	差異	前期比	前年同期	実績	差異	前期比
売上高	5,991	10,678	4,687	178.2%	14,974	21,685	6,711	144.8%
売上総利益	721	1,014	294	140.7%	1,999	2,329	329	116.5%
(売上総利益率)	12.0%	9.5%	▲2.5%	-	13.4%	10.7%	▲2.6%	-
販売管理費	556	1,093	537	196.4%	1,559	2,258	699	144.8%
(販売管理费率)	9.3%	10.2%	0.9%	-	10.4%	10.4%	-	-
営業利益	164	▲79	▲243	-	441	71	▲370	16.0%
(営業利益率)	2.7%	▲0.7%	▲3.5%	-	2.9%	0.3%	▲2.6%	-
経常利益	152	▲72	▲225	-	418	12	▲406	2.8%
(経常利益率)	2.5%	▲0.7%	▲3.2%	-	2.8%	0.1%	▲2.7%	-
当期純利益	100	▲31	▲131	-	865	1,243	378	143.6%
(当期純利益率)	1.7%	▲0.3%	▲2.0%	-	5.8%	5.7%	-	-
現場社員数 (nms単体)	3,346	3,519	173	105.2%	3,346	3,519	173	105.2%

平成24年3月期 第3四半期 業績について (P/L)

・事業別の詳細は、後述スライドのとおり。

売上高 21,685百万円 (前期比+44.8%、6,711百万円増収)

…TKRとの経営統合によりEMS事業が大幅増収

● IS事業	6,851百万円	(前期比+5.1%、332百万円増収)
● MS事業	2,240百万円	(前期比△7.3%、177百万円減収)
● GE事業	464百万円	(前期比△8.8%、45百万円減収)
● EMS事業	12,129百万円	(前期比+119.4%、6,600百万円増収)

売上総利益 2,329百万円 (前期比+16.5%、329百万円増益)

…売上総利益率△2.6Pointとなるも売上増により売上総利益も増益

営業利益 71百万円 (前期比△84.0%、370百万円減益)

…売上総利益が329百万円増益となるも販管費+699百万円で営業利益は減益

《営業利益悪化を生じさせた要因》…合計△367百万円

東日本大震災による影響	一過性	△199百万円	IS事業△10百万円、MS事業△29百万円、GE事業△4百万円、EMS事業△156百万円
タイ大洪水による影響	一過性	△37百万円	IS事業△28百万円、EMS事業△9百万円
海外事業立上げ費用	投資	△101百万円	中基衆合、nmsベトナム立上げ費用等
TKRとの経営統合費用	投資	△30百万円	DD、監査費用等

当期純利益 1,243百万円 (前期比+43.6%、378百万円増益)

…負ののれん発生益 1,199百万円

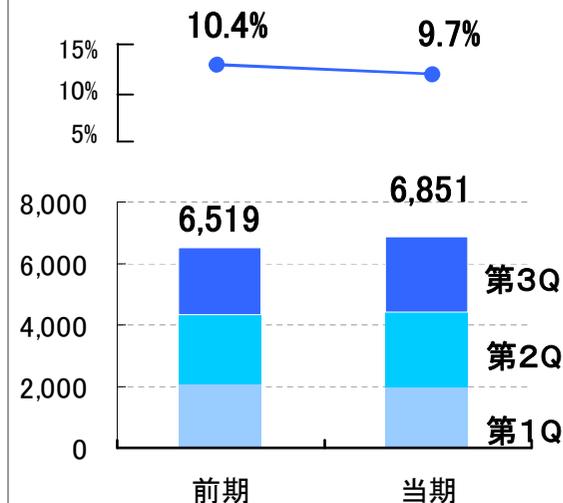
平成24年3月期 第3四半期 事業別業績ハイライト

IS事業 インラインソリューション事業

売上高において前期比5.1%の増収

- ◆ 震災後クライアントメーカーが在庫払底後の増産局面で指名を受ける等、順調に業績を回復してきており、リーマンショック後の在籍数において最高を達成
- ◆ 海外での製造派遣、製造請負といったサービスメニューを有し他社との完全差別化を図るべく中基衆合、nmsベトナムと連携し、新規案件獲得に向けた営業活動を精力的に進める

売上高及び営業利益率



決算期 項目	第3四半期				第3四半期(累計)			
	前年同期	実績	差異	前期比	前年同期	実績	差異	前期比
売上高	2,198	2,444	246	111.2%	6,519	6,851	332	105.1%
(構成比)	36.7%	22.9%	▲13.8%	-	43.5%	31.6%	▲11.9%	-
営業利益	247	203	▲44	82.2%	675	668	▲7	98.9%
(営業利益率)	11.2%	8.3%	▲2.9%	-	10.4%	9.7%	▲0.6%	-
現場社員数(人)	2,410	2,700	290	112.0%	2,410	2,700	290	112.0%

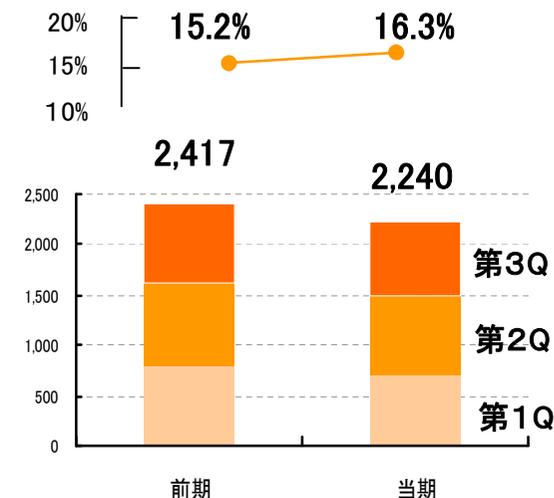
平成24年3月期 第3四半期 事業別業績ハイライト

MS事業 マニファクチャリングソリューション事業

**売上高においては前期比7.3%減収
営業利益においては1.0%の減益**

- ◆既存の受託型のビジネス形態の他に、訪問修理形態のフィールドサービス事業分野を立上げ、拡大化を進めており、クライアントメーカー数、取り扱い製品数ともに増加
- ◆MS事業をカスタマーサービス事業全体を見据えたものとすべく、事業ミッションの再定義を実施

売上高及び営業利益率



決算期 項目	第3四半期				第3四半期(累計)			
	前年同期	実績	差異	前期比	前年同期	実績	差異	前期比
売上高	815	748	▲ 67	91.8%	2,417	2,240	▲ 177	92.7%
(構成比)	13.6%	7.0%	▲6.6%	-	16.2%	10.3%	▲5.8%	-
営業利益	124	134	10	108.1%	368	364	▲ 4	99.0%
(営業利益率)	15.2%	17.9%	2.7%	-	15.2%	16.3%	1.0%	-
現場社員数(人)	812	709	▲ 103	87.3%	812	709	▲ 103	87.3%

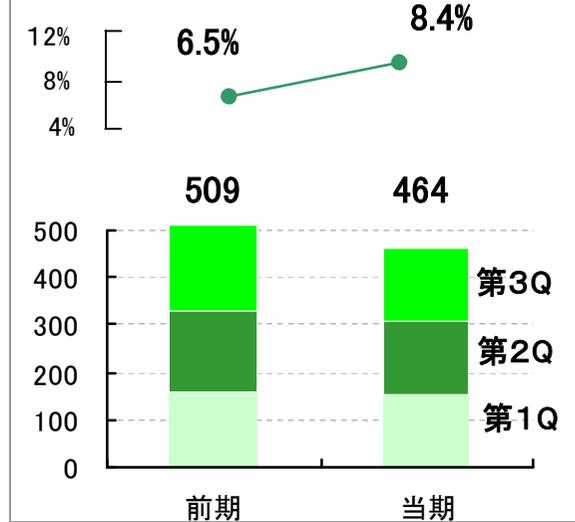
平成24年3月期 第3四半期 事業別業績ハイライト

GE事業 グローバルエンジニアリング事業 (GS事業+ES事業)

**売上高においては前期比8.8%の減収
営業利益においては18.2%の増益**

- ◆日本人技術者派遣のほか、中国法人と連携して中国人技術者の日本メーカーへ派遣する当社グループ特有のビジネスモデルを再度ブラッシュアップし、顧客のニーズに応える
- ◆TKRグループ、志摩グループと連携を取り、新たなる受託型の設計業務の開発にも注力するとともにグループ内の生産変動に合わせ技術者を派遣する等、neo EMSとしての事業展開を実践

売上高及び営業利益率



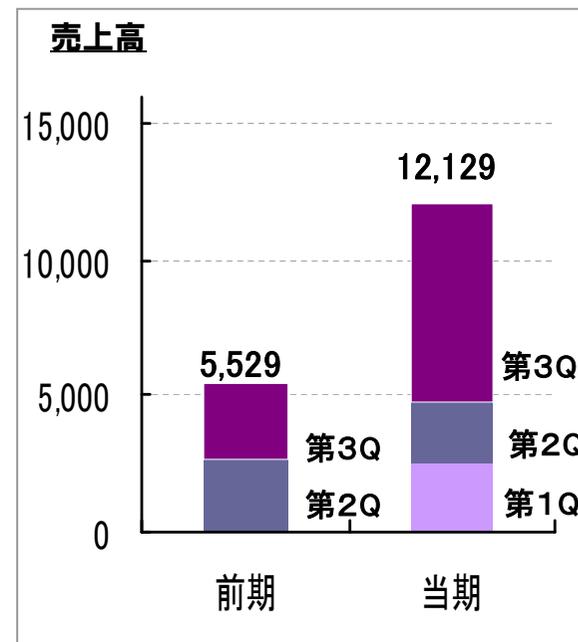
決算期 項目	第3四半期				第3四半期(累計)			
	前年同期	実績	差異	前期比	前年同期	実績	差異	前期比
売上高	181	156	▲ 25	86.1%	509	464	▲ 45	91.2%
(構成比)	3.0%	1.5%	▲1.6%	-	3.4%	2.1%	▲1.3%	-
営業利益	16	16	0	100.0%	33	39	6	118.2%
(営業利益率)	8.8%	10.3%	1.4%	-	6.5%	8.4%	1.9%	-
現場社員数(人)	124	110	▲ 14	88.7%	124	110	▲ 14	88.7%

平成24年3月期 第3四半期 事業別業績ハイライト

EMS事業 エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業

売上高において前期比119.4%の増収

- ◆東日本大震災に続き、タイで起きた大規模洪水により部材調達面で影響を受け、コストミニマムオペレーションにて業績悪化を最小限に食い止める
- ◆当該事業の当社グループ内での事業シナジーを一層発揮すべく営業面、技術面での見直しを精力的に進める



決算期	第3四半期				第3四半期(累計)			
	前年同期	実績	差異	前期比	前年同期	実績	差異	前期比
売上高	2,797	7,330	4,533	262.1%	5,529	12,129	6,600	219.4%
(構成比)	46.7%	68.6%	22.0%	-	36.9%	55.9%	19.0%	-
営業利益	33	▲ 111	▲ 144	-	89	▲ 103	▲ 192	-
(営業利益率)	1.2%	▲1.5%	▲2.7%	-	1.6%	▲0.8%	▲2.4%	-

平成24年3月期 第3四半期 業績ハイライト(B/S)

前期末比 総資産+11,623百万円、純資産+3,387百万円

項目/決算別 (単位:百万円)	平成23年3月期	平成24年3月期 第3四半期		
	(11/3末)	(11/12末)	増減	前期末比
資産合計	7,362	18,985	11,623	257.9%
流動資産	6,508	13,152	6,644	202.1%
固定資産	854	5,833	4,979	683.1%
負債	5,193	13,429	8,236	258.6%
流動負債	4,233	10,671	6,438	252.1%
固定負債	960	2,758	1,798	287.3%
純資産	2,169	5,556	3,387	256.1%
資本金	501	501	0	100.0%
資本剰余金	216	222	6	102.6%
利益剰余金	1,512	2,713	1,201	179.5%
その他	▲ 59	2,120	2,179	—
負債・純資産合計	7,362	18,985	11,623	257.9%

流動資産 前期末比+6,644百万円

現金及び預金+2,817百万円
 受取手形及び売掛金+2,703百万円
 製品、仕掛品+634百万円
 原材料及び貯蔵品+162百万円

固定資産 前期末比4,979百万円

有形固定資産+3,879百万円
 投資その他の資産+810百万円

流動負債 前期末比+6,438百万円

短期借入金+4,028百万円
 支払手形及び買掛金+1,679百万円
 未払金 +166百万円
 その他+421百万円

資本金 前期末比±0百万円

変動なし

資本剰余金 前期末比+6百万円

利益剰余金 前期末比+1,201百万円

その他 前期末比+2,179百万円

少数株主持分+2,483百万円
 為替換算調整勘定△224百万円

平成24年3月期 第3四半期 業績ハイライト(C/F)(参考)

TKRとの経営統合により1株あたり純資産・純利益ともに大幅増加

<C/F>

項目/決算別 (単位：百万円)	平成23年3月期 第3四半期連結累計期間	平成24年3月期 第3四半期連結累計期間	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	658	27	△ 631
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 201	757	958
財務活動による キャッシュ・フロー	700	1,705	1,004
現金及び現金同等物の 増減額	1,142	2,417	1,275
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,044	4,130	2,085

<主な指標>

項目/決算期	平成23年3月期 第3四半期連結会計期間	平成24年3月期 第3四半期連結会計期間	増減
1株あたり純資産(円)	21,062.59	30,320.35	9,257.76
自己資本比率(%)	26.6	16.1	▲ 10.5

項目/決算期	平成23年3月期 第3四半期連結累計期間	平成24年3月期 第3四半期連結累計期間	増減
1株あたり純利益(円)	8,690.62	12,455.45	3,764.83

* 2011年4月1日を効力日として株式分割(1株→5株)を実施したため、平成23年3月期第3四半期累計期間の1株あたり純資産(円)と1株あたり純利益(円)は分割後換算で表示



平成24年3月期 通期業績予想



平成24年3月期 通期業績予想（連結）

売上高:前期比+69.3%、利益:営業利益で前期比+24.4%

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				平成24年3月期(通期)累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	8,983	11,007	2,024	+22.5%	11,692	23,993	12,301	+105.2%	20,675	35,000	14,325	+69.3%
売上総利益	1,278	1,315	37	+2.9%	1,455	2,735	1,280	+88.0%	2,733	4,050	1,317	+48.2%
(売上総利益率)	14.2%	11.9%	▲2.3%	-	12.4%	11.4%	▲1.0%	-	13.2%	11.6%	▲1.6%	-
販売管理費	1,002	1,165	163	+16.3%	1,128	2,135	1,007	+89.3%	2,130	3,300	1,170	+54.9%
(販売管理费率)	11.2%	10.6%	▲0.6%	-	9.6%	8.9%	▲0.7%	-	10.3%	9.4%	▲0.9%	-
営業利益	276	150	▲126	▲45.7%	327	600	273	+83.5%	603	750	147	+24.4%
(営業利益率)	3.1%	1.4%	▲1.7%	-	2.8%	2.5%	▲0.3%	-	2.9%	2.1%	▲0.8%	-
経常利益	265	85	▲180	▲67.9%	318	645	327	+102.8%	583	730	147	+25.2%
(経常利益率)	3.0%	0.8%	▲2.2%	-	2.7%	2.7%	▲0.0%	-	2.8%	2.1%	▲0.7%	-
当期純利益	765	1,274	509	+66.5%	144	▲224	▲368	-	909	1,050	141	+15.5%
(当期純利益率)	8.5%	11.6%	3.1%	-	1.2%	▲0.9%	▲2.2%	-	4.4%	3.0%	▲1.4%	-
現場社員数	3,425	3,534	109	+3.2%	3,312	3,980	668	+20.2%	3,312	3,980	668	+20.2%

平成24年3月期 通期業績予想概要（連結）

売上高 35,000百万円（前年同期比 69.3%増↑）
⇒前年同期に比して売上高は14,325百万円の大増収

●IS事業 9,400百万円（前年同期比 10.4%増↑）

●MS事業 3,000百万円（前年同期比 5.5%減↓）

●GE事業 600百万円（前年同期比 12.9%減↓）

●EMS事業 22,000百万円（前年同期比 165.2%増↑）

売上総利益 4,050百万円（前年同期比 48.2%増↑）
⇒前年同期に比して売上総利益は1,317百万円の増益

販管費 3,300百万円（前年同期比 54.9%増↑）

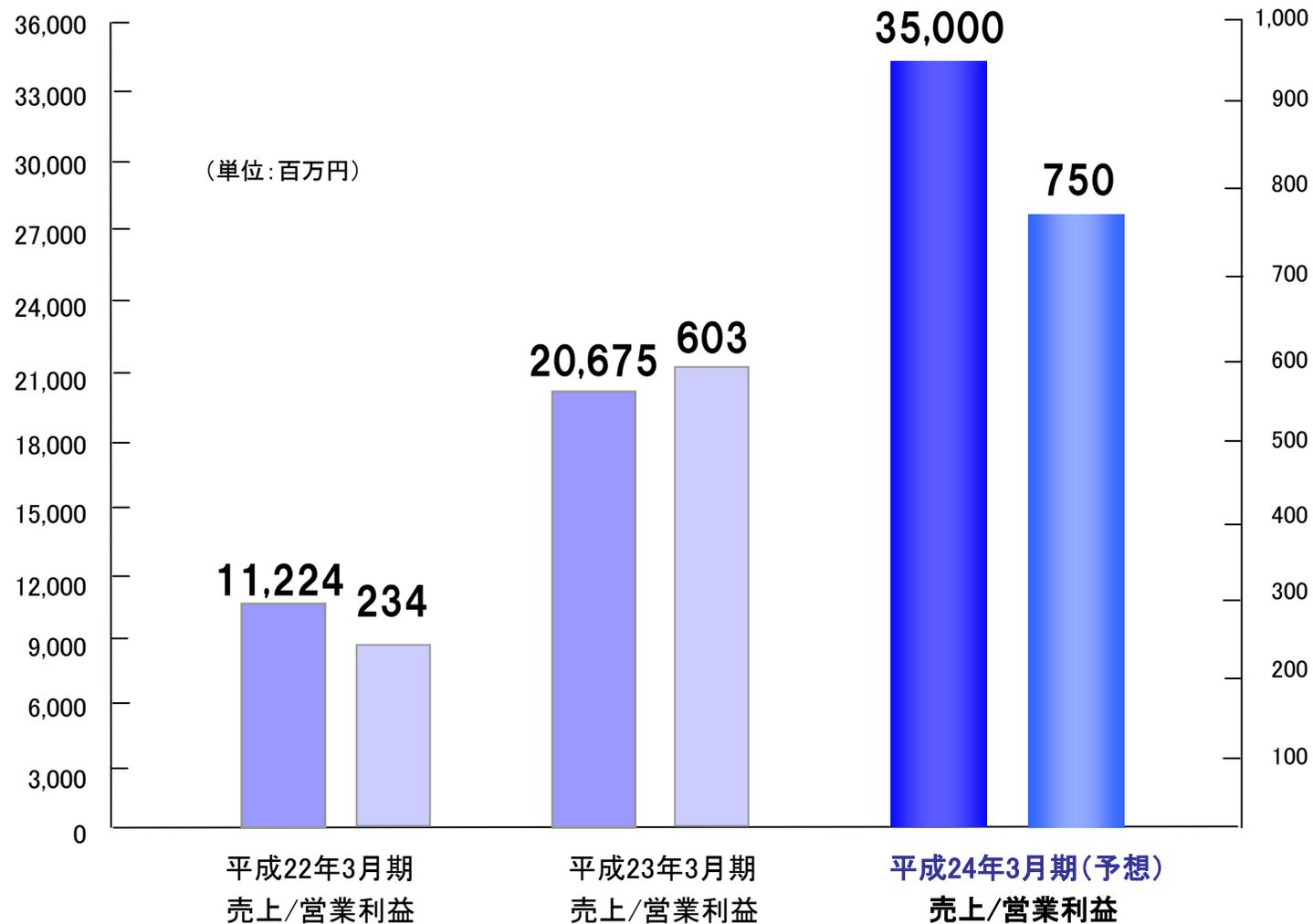
営業利益 750百万円（前年同期比 24.4%増↑）

経常利益 730百万円（前年同期比 25.2%増↑）

当期純利益 1,050百万円（前年同期比 15.5%増↑）

平成24年3月期 通期業績予想概要（連結）

売上高：前期比+69.3% 営業利益+24.4%



平成24年3月期 事業別業績見通し

IS事業 インラインソリューション事業

売上高10.4%増 営業利益18.7%増

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	4,321	4,407	86	+2.0%	4,195	4,993	798	+19.0%	8,516	9,400	884	+10.4%
(構成比)	48.1%	40.0%	▲8.1%	-	35.9%	20.8%	▲15.1%	-	41.2%	26.9%	▲14.3%	-
営業利益	428	464	36	+8.4%	474	607	133	+28.1%	902	1,071	169	+18.7%
(営業利益率)	9.9%	10.5%	0.6%	-	11.3%	12.2%	0.9%	-	10.6%	11.4%	0.8%	-
現場社員数(人)	2,531	2,666	135	+5.3%	2,405	3,000	595	+24.7%	2,405	3,000	595	+24.7%

MS事業 マニュファクチャリングソリューション事業

売上高5.5%減 営業利益15.6%増

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	1,602	1,491	▲111	▲6.9%	1,571	1,509	▲62	▲3.9%	3,173	3,000	▲173	▲5.5%
(構成比)	17.8%	13.5%	▲4.3%	-	13.4%	6.3%	▲7.1%	-	15.3%	8.6%	▲6.8%	-
営業利益	244	230	▲14	▲5.7%	255	347	92	+36.1%	499	577	78	+15.6%
(営業利益率)	15.2%	15.4%	0.2%	-	16.2%	23.0%	6.8%	-	15.7%	19.2%	3.5%	-
現場社員数(人)	775	756	▲19	▲2.5%	778	850	72	+9.3%	778	850	72	+9.3%

平成24年3月期 事業別業績見通し

GE事業

グローバルエンジニアリング事業
(GS事業+ES事業)

売上高12.9%減 営業利益14.8%減

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	328	309	▲19	▲5.8%	361	291	▲70	▲19.4%	689	600	▲89	▲12.9%
(構成比)	3.7%	2.8%	▲0.9%	-	3.1%	1.2%	▲1.9%	-	3.3%	1.7%	▲1.6%	-
営業利益	18	23	5	+27.8%	36	23	▲13	▲36.1%	54	46	▲8	▲14.8%
(営業利益率)	5.5%	7.4%	2.0%	-	10.0%	7.9%	▲2.1%	-	7.8%	7.7%	▲0.2%	-
現場社員数(人)	119	112	▲7	▲5.9%	129	130	1	+0.8%	129	130	1	+0.8%

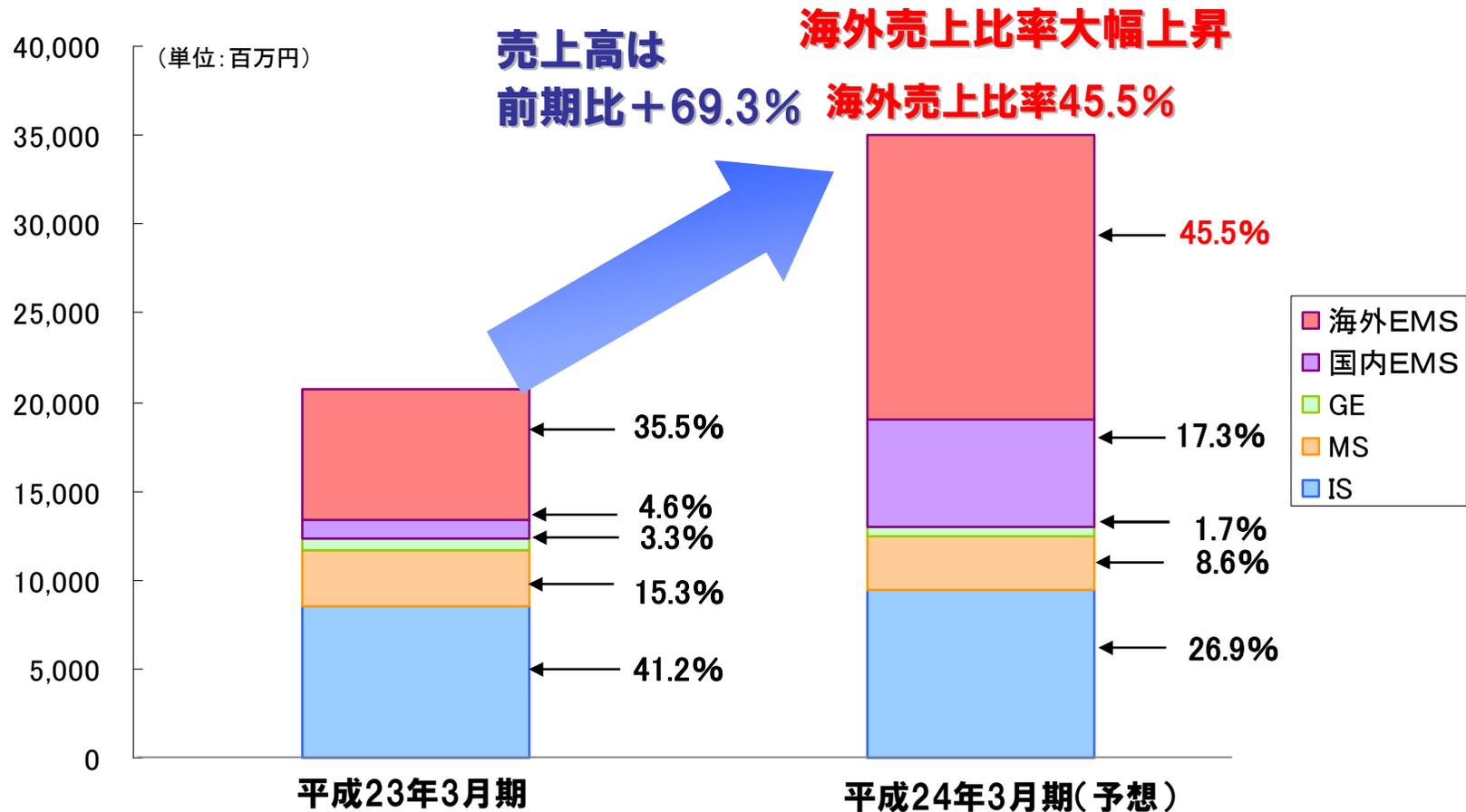
EMS事業

エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業

売上高165.2%増 営業利益121.2%増

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	2,732	4,799	2,067	+75.7%	5,565	17,201	11,636	+209.1%	8,297	22,000	13,703	+165.2%
(構成比)	30.4%	43.6%	13.2%	-	47.6%	71.7%	24.1%	-	40.1%	62.9%	22.7%	-
営業利益	56	8	▲48	▲85.7%	57	242	185	+324.6%	113	250	137	+121.2%
(営業利益率)	2.0%	0.2%	▲1.9%	-	1.0%	1.4%	0.4%	-	1.4%	1.1%	▲0.2%	-

事業別売上構成



* 志摩電子日本、香港分は9ヶ月分
マレーシア(12月決算)は6ヶ月分のみ計上

* TKRグループは12月決算のため、6ヶ月分のみ計上

株主還元

**総還元性向（配当＋自己株式取得）20％を中長期的目標
配当性向10％を目標**

単位：円/(%)	2010年3月期		2011年3月期		2012年3月期 (予想)
配当金(1株)	普通配当	普通配当	普通配当	普通配当＋特別配当 ＋記念配当の場合	普通配当
	100円	200円	400円	400円	300円
配当性向(連結) (単体ベース)	-	2.2%	4.4%	4.4%	8.1%
	(4.3%)	(10.0%)	(20.0%)	(20.0%)	-
総還元性向(連結) (単体ベース)	-	2.2%	4.4%	4.4%	8.1%
	(10.0%)	(10.0%)	(20.0%)	(20.0%)	-

* 2011年4月1日を効力日として株式分割(1株→5株)を実施したため、上記は分割後換算で表示

* 2011年3月期第2四半期より連結決算をおこなっているため、参考として単体ベースも記載

* 2010年3月期は、自己株式取得(取得金額13,024,540円)を実施

中期ビジョンと事業戦略の進捗状況



製造アウトソーシング アジアNo1

2014年3月期は

事業規模を2011年3月期比3倍に拡大

中国事業を中心に海外売上高比率を52%に拡大

当社の戦略

「モノづくり」と「人材提供の機動性」を併せ持つ

「neoEMS」をグローバルに展開し、
海外生産ニーズ、国内でのモノづくりニーズを獲得

設計から製品組立に至る
モノづくり

+

人材ビジネスの持つ
人材提供の機動性

日本のメーカーが求める
▶ **モノづくり**

物流をカバーすることで

開発・設計から修理・カスタマーサービスまで、

ワンストップサービスを提供



製造アウトソーシング アジアNo.1に向けて 国内で得た収益で海外事業に投資

海外事業

Mission

**海外事業規模の拡大、
海外インフラの構築**



国内事業

Mission

海外投資源泉の適正確保

収益性の向上

- モノづくりサービス品質の向上
- 競争優位性の確立

将来:国内に還元

国内事業のミッション

国内事業

Mission

海外投資源泉の適正確保

サービス品質の向上、競争優位性の確立で収益性の向上を図る

- **人材ビジネス**

 - 製造請負、派遣事業

IS

 - 技術者派遣事業

GE

- **デジタル製品修理事業**

MS

- **EMS事業**

EMS

国内

国内事業 – 事業別ミッション

人材ビジネス 製造請負・派遣事業

IS

請負市場シェアの拡大による収益性の確保

技術者派遣事業

GE

中国人技術者派遣事業の再構築、TKRとの協業等により事業拡大

デジタル製品修理事業

MS

デジタル製品修理事業の拡充

EMS事業

EMS

志摩電子工業、TKRとの経営統合により製造サービス領域を拡大

人材ビジネス

IS

中国

製造派遣事業の拡大を加速、製造請負事業を開始

ベトナム

製造業の東南アジアシフトへも対応し、製造請負事業を開始

EMS事業

EMS

中国

マレーシア

nmsの協業体制を確立し、事業規模を拡大

海外拠点の連携

製造派遣、請負、EMS事業の連携

海外事業 – 進捗状況・TOPICS

日系企業 約800社が進出している中国華東地区無錫への中基衆合 無錫分公司の設立に続き

日系企業約600社が進出している

中国華南地区 深圳に中基衆合深圳分公司を設立

→ 中国派遣事業の基盤拡充 + 製造派遣案件の獲得機会の増大

平成23年9月5日設立

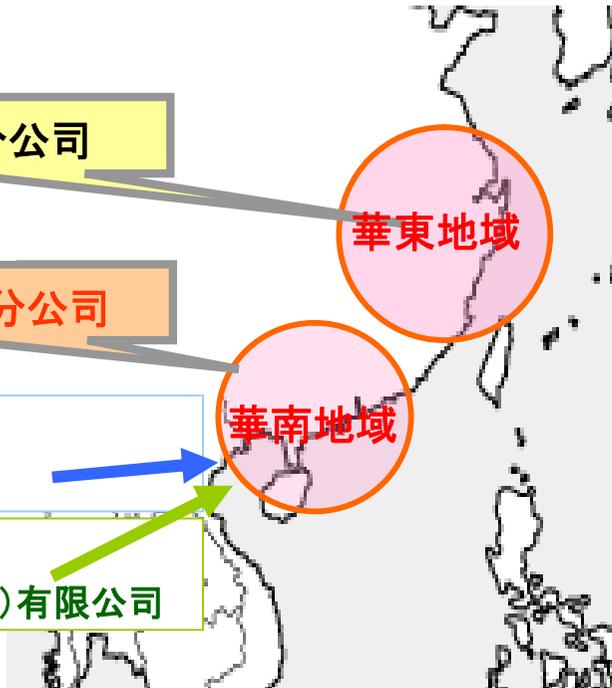
中基衆合 無錫分公司

平成24年1月4日設立

中基衆合 深圳分公司

(株)志摩電子工業
中国深圳工場

(株)TKR
中宝華南電子(東莞)有限公司



POINT

- ① 中国華南地区における製造派遣事業の拡大
- ② 子会社である(株)志摩電子工業と(株)テーケアールとのシナジー効果
製造派遣・請負サービス品質の向上
- ③ 事業戦略コンセプト「neo EMS」の基盤構築

海外事業 – 進捗状況・TOPICS

事業環境

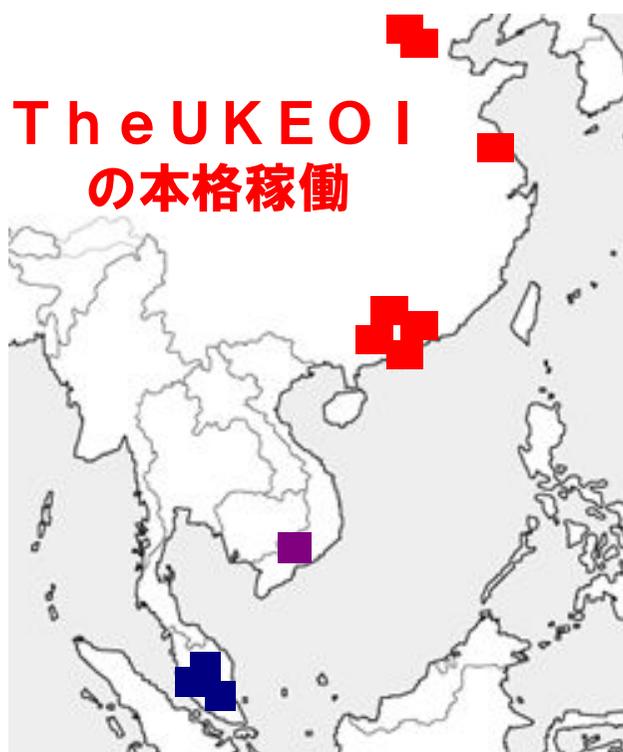
アウトソーシングニーズが拡大

(海外での人件費の高騰 → メーカーの人件費の変動費化ニーズが高まる)

当社の優位性

現地の労働政策に関わることから取得が難しい許認可を取得し、
東南アジアでの人材ビジネス展開の体制を構築済

中国、東南アジアでのnmsマニュファクチャリングサービス網と許認可取得状況



■ 中国

- ・製造拠点(2拠点)
- ・労務派遣(製造派遣、技術者派遣等含む)(3拠点)

★日系企業初の労務派遣許認可取得

★「中国労務派遣専門委員会」に唯一の日系企業として選任

* 労務派遣…製造派遣、技術者派遣、事務系派遣等全ての派遣業務を含む

■ マレーシア

- ・製造拠点(3拠点)

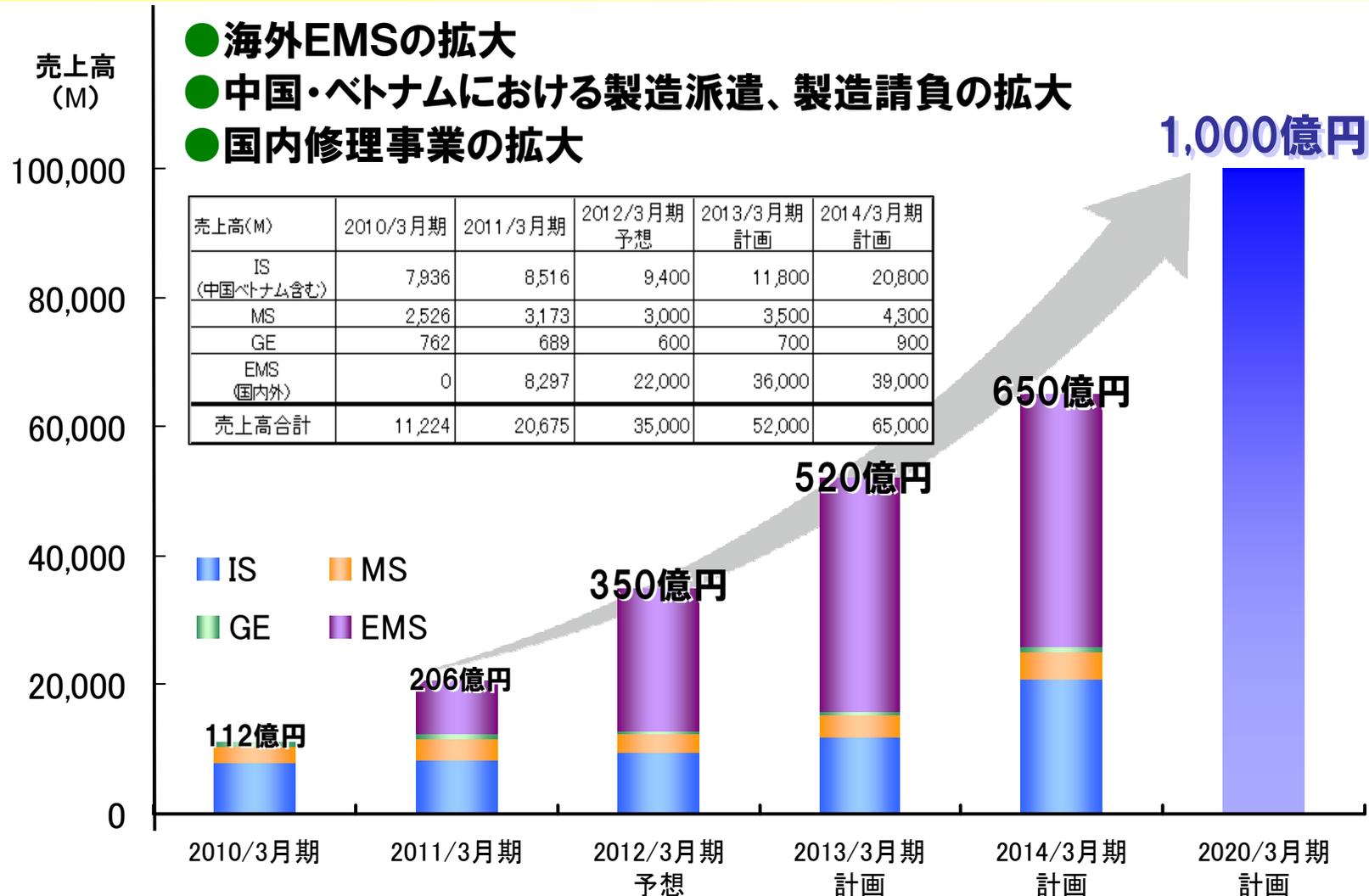
■ ベトナム

- ・構内請負事業、製造受託事業(1拠点)

★日系企業初の構内製造請負事業ライセンス取得

売上高1,000億円を目指した展開

- 海外EMSの拡大
- 中国・ベトナムにおける製造派遣、製造請負の拡大
- 国内修理事業の拡大



参考資料:(株)TKRとの経営統合について



製造アウトソーシング業界において

リーディングカンパニーとなる事業規模の達成

他社より大きく先行する

海外売上比率45.5%の達成予想(平成24年3月期)

他社より大きく先行する

**事業戦略コンセプト「neoEMS」を加速させる
多くの戦略上のメリットを獲得**

製造アウトソーシング業界において リーディングカンパニーとなる事業規模の達成

The diagram consists of two overlapping circles. The left circle is labeled 'nms グループ' and contains text about its business strategy and financials. The right circle is labeled 'TKR グループ' and contains text about its technical capabilities and financials. The overlapping area in the center is labeled '経営統合' (Business Integration).

nms

グループ

「neo EMS」の事業戦略コンセプトのもと国内外に事業を展開し、他の製造アウトソーシング企業とは一線を画す「モノづくり」カンパニー

売上高: 206億円

純資産: 21億円

(2011年3月期連結ベース)

TKR

グループ

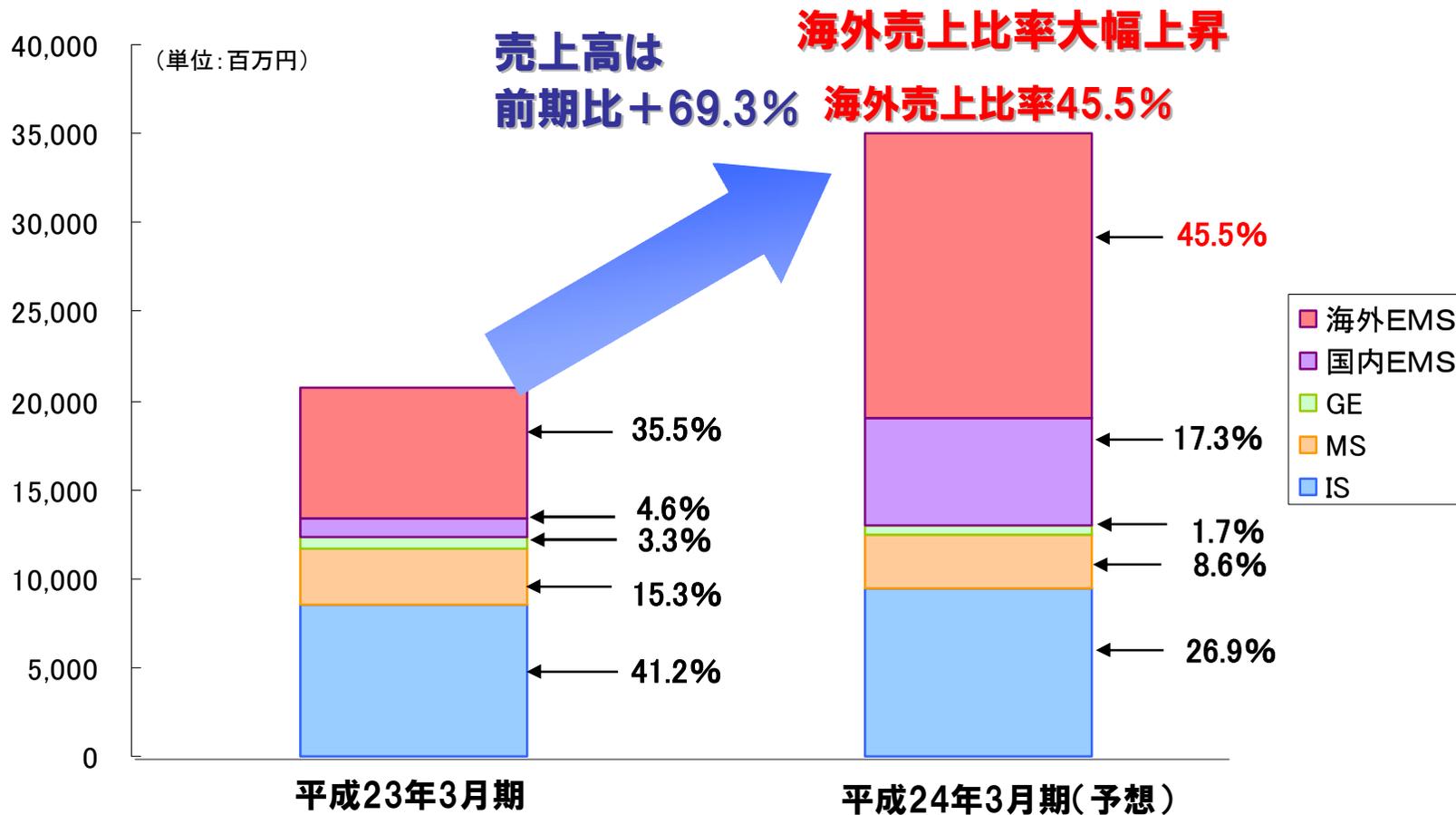
高度な開発設計技術力、製造能力を有し、グローバルに事業展開をしているEMS企業

売上高: 298億円

純資産: 53億円

(2011年3月期連結ベース)

本経営統合により、 当社の海外売上比率は45.5%に上昇



* 志摩電子日本、香港分は9ヶ月分
マレーシア(12月決算)は6ヶ月分のみ計上

* TKRグループは12月決算のため、6ヶ月分のみ計上

事業戦略コンセプト「neo EMS」の強化

設計開発技術力、調達、部品製造・加工等メーカーと同等の製造能力を保有
「neo EMS」のサービスラインナップを強化

2010年7月子会社化

SHIMA
株式会社志摩電子工業

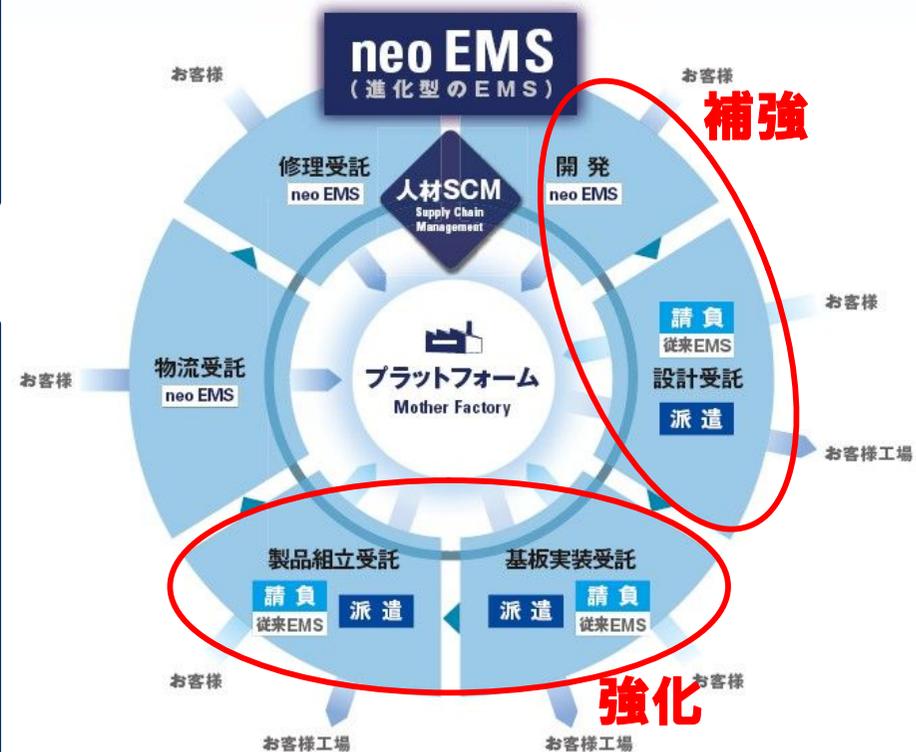
- 基板実装業務を強化
- 海外拠点の獲得(中国・マレーシア)

+

2011年7月子会社化

TKR

- 基板実装以外にも
- ・ 高度な開発設計技術力
 - ・ 金型設計／製作
 - ・ プレス加工
 - ・ モールド成形加工
 - ・ ODM/OEM 等
 - 資材調達能力
 - 海外人材教育システム
 - 海外拠点(中国・マレーシア)



株式会社TKRとの経営統合による戦略的メリット

当社成長戦略上のメリット

Merit 1

「neo EMS」機能および国内・海外の事業基盤の強化

neo EMS機能を強化し、メーカーと同等の製造能力でサービス内容の充実を図る

Merit 2

顧客層、製品・サービス領域の拡大による事業機会の飛躍的拡大

国内のみならず海外拠点（中国、マレーシア）の規模と質的な拡充ができ、国内外においてneoEMSの機能強化とサービス領域の拡大による新規顧客領域の開拓

Merit 3

TKRが保有する生産管理システム等インフラ活用による事業効率の向上

グループ共同営業・受注体制の構築、部品調達、生産管理システムの共通化による在庫管理・購買業務の効率化等トータルコスト低減による利益率の改善

Merit 4

人材教育システムの活用により中国労務派遣事業の差別化を図る

北京中基衆合国際技術服务有限公司（中基衆合）でTheUKEOIに向け労務派遣スタッフを多能工化することで差別化を図る

TKRの子会社化により、neo EMSのグローバル展開を加速

メーカーと同等の製造能力にて、ODM/OEM、リペアサービスにいたるまで

neo EMSの機能強化を実現、トータルサービスを充実

開発・設計から製造にいたるすべてのモノづくりプロセスが補強・強化され、新たに追加される機能により一貫生産体制を実現

		開発・設計		資材調達			製造				物流	リペアサービス
		開発・設計	試作・評価	購買管理	金型製作・保守	部品製造・部品加工 (板金プレス、モールド成形)	基板実装	デバイス・モジュール組立	完成品組立	検査		
		×機能無 ○既存 ◎強化・補強 新規追加分野										
国内	nms+志摩	○	○	○	×	×	○	○	○	○		○
	nms+志摩+TKR	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎
海外	nms+志摩	×	○	○	×	×	○	×	○	○		○
	nms+志摩+TKR	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎

サービスの高度化と充実化で新規顧客を獲得

国内外においてneo EMSの機能強化を実現し、設計開発、製造、修理に至るまで人材ビジネスの機動性を兼ね備えたワンストップサービスを提供

人材ビジネスの機動性

モノづくり力

メーカーに匹敵するモノづくり力

高度な開発設計技術力、
基板実装を含めたモジュール組立、
ODM/OEM等幅広いモノづくりサービス領域



基盤実装ラインの増加

国内外SMTライン数
nms・志摩
40ライン



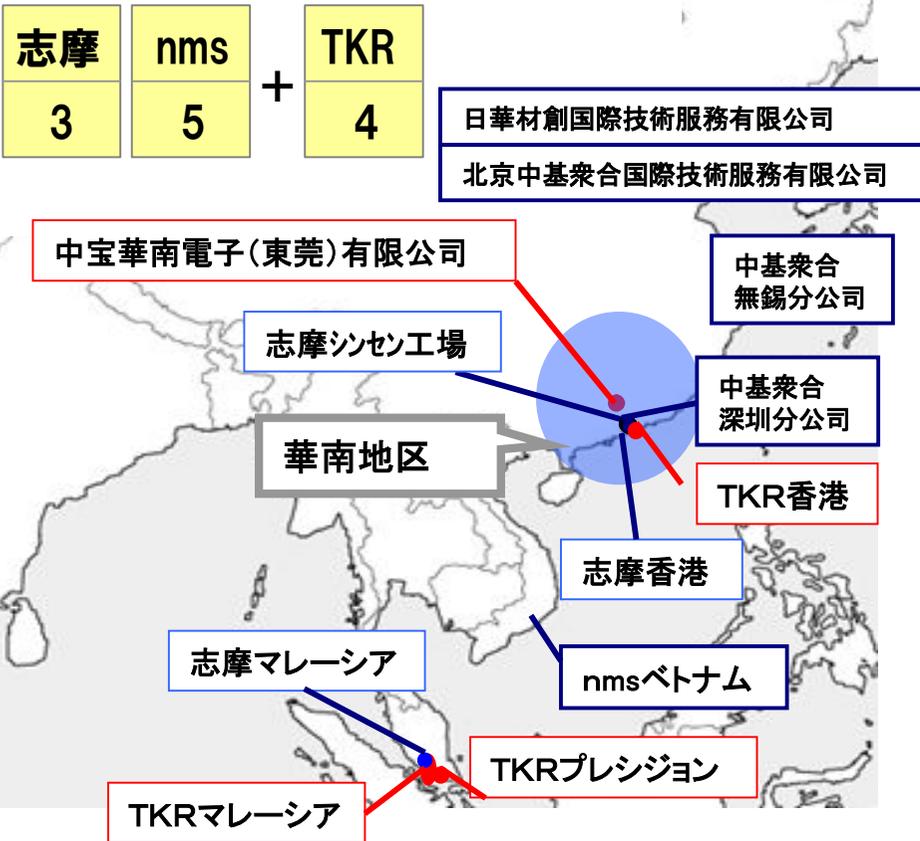
国内外SMTライン数
nms・志摩・TKR
66ライン

顧客層、製品・サービス領域の拡大による事業機会の飛躍的拡大

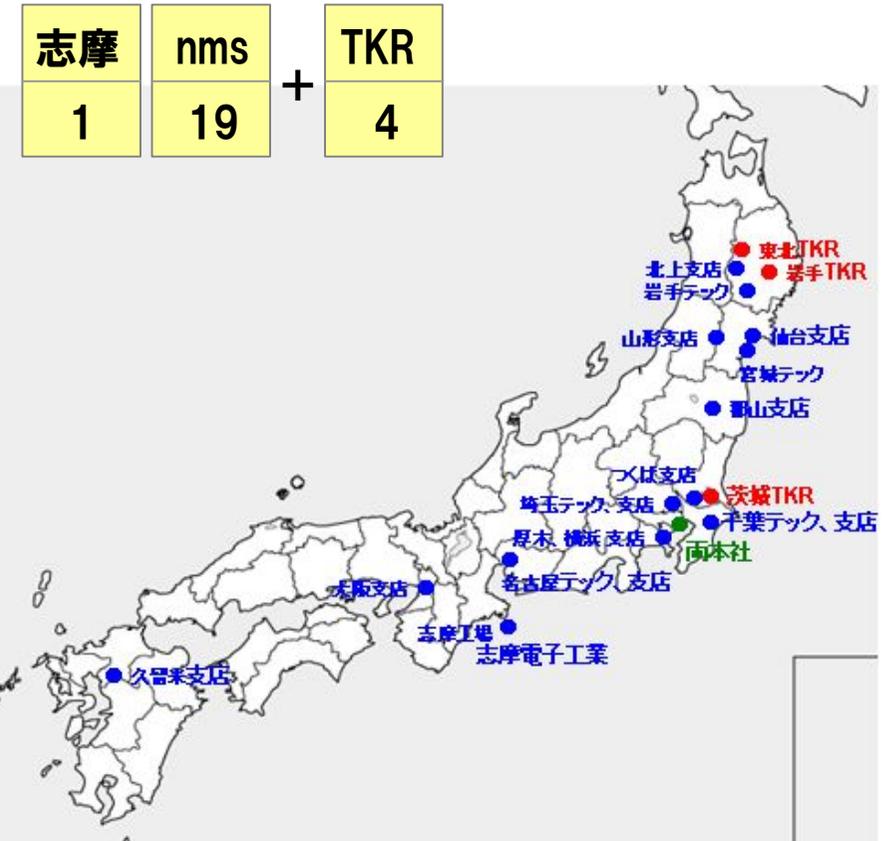
サービス領域の拡大による事業機会の拡大

国内拠点、海外拠点(中国、マレーシア)の規模と質的な拡充

海外 (12拠点)



国内 (24拠点)



(株)TKRが保有する生産管理システム等インフラ活用による事業効率の向上



**開発・設計業務から、部品製造・加工やモジュール組立を含めた
メーカーと同等の製造力でサービス内容を充実し、
グループ共同営業体制を強化拡充**

**TKRが独自開発したMRPを含むグローバルな調達システム、
生産管理システムを共有化することによる在庫管理・購買業務の
効率化等でトータルコストの低減、利益率の向上**

MRP: material requirement planning

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料の中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

日本マニュファクチャリングサービス株式会社
コーポレート本部 広報IRグループ
Tel:03-5333-1711
E-mail:nms-ir@n-ms.co.jp